

公益社団法人日本経営工学会
第38期第1回理事会議事録

日 時：2025年6月21日(土)14:00～17:30

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス14号館801教室

出席者：(理事)船木謙一, 皆川健多郎, 藤野直明, 西野成昭(オンライン), 竹野建夫, 葛山康典, 石原良晃(オンライン), 市来寄治, 赤木宏匡, 竹本康彦, 野中朋美, 大森俊一(オンライン), 木内正光

(監事)滝聖子(オンライン)

欠席者：(監事)宗澤良臣

対面及びWeb会議システム(Zoom)を用いてのハイブリッドにより理事会を行った。開催前に出席者の音声や映像を確認した上で、議案の審議に入った。

議決事項

0. 代表理事選出の件

定款21条2項, および22条2項にもとづいて, 選挙で選ばれた船木謙一理事を代表理事, 皆川健多郎理事と藤野直明理事を業務執行理事にすることが全会一致で承認された。

1. 常設委員会委員の件

庶務担当理事より, 資料(G-1)に基づき, 常設委員会および特別委員会委員の選任が提案され, 全会一致で承認された。なお, 論文誌編集委員については, 全員がエリアディタを兼任し, 今後増員を予定していることを確認した。また, 研究会, 人材育成委員会, 企画・行事委員会, 表彰委員会については, 今後選任されることを確認した。

2. 入会承認の件

会員担当理事より, 資料(G-2)に基づき, 正会員9名, 学生会員8名, 合計17名の入会の提案があり, 全会一致で承認された。なお, 入会時における入会申請者からの「学会への要望」については, 会員担当理事と庶務担当理事で連携して対応案を検討することを確認した。

3. 支部長承認の件

支部担当理事より, 資料(G-3)に基づき, 各支部の支部長選出までの過程とともに, 各支部の支部長が提案され, 全会一致で承認された。支部長の承認については, 本部役員との重複があり, その点についても確認がされた。なお会長より全理事に対して, 本件とは別に, 期を跨る際に起こる規定間の矛盾などがあることが示され, 今後はこうした場合について修正を検討することを確認した。

4. その他

なし

協議事項

1. 著作権管理委託著作物リスト(37期からの継続審議)の件

庶務担当理事より、資料(K-1)に基づき、学術著作権協会からの著作権管理委託著作物リストのAI利用を含む更新の可否について協議した。説明文書内のAI利用許諾範囲において、利用者向けの利用許諾契約「JACデジタル著作権利用許諾契約(JAC-DCL)」が開示されていないことから、学会事務局を通して問い合わせをし、回答を得た上で継続審議とすることを全会一致で承認された。

2. 経営工学普及方策の検討体制の件

副会長(経営工学普及担当)より、資料(K-2)に基づき、会長方針が確認され、経営工学の普及案を創出するための、目的軸と学会機能(常設委員会)軸で構成された「経営工学普及施策生成マトリクス」が示された。副会長記入のマトリクスを基に、企業規模ごとの経営工学事例の必要性、文理融合の効果の発信、国家試験との関係、関連団体の動向、デジタル人材の育成(AI活用含む)、他団体とのコラボレーションの可能性、ジャーナルの今後など、多様な意見が出された。副会長より、マイルストーンとして2～3週間を目安に個々に考えて送ることを全会一致で承認された。

3. その他

なし

報告事項

1. 財務に関するご報告の件

副会長(財務担当)より、資料(H-1)に基づき、財務について報告がなされた。なお、財務担当理事が申請の当人となる場合は、庶務担当理事から合議を得ることを確認した。

2. 退会の件

会員担当理事より、資料(H-2)に基づき、正会員14人、学生会員6人、合計20人の退会申請について報告がなされた。なお、「退会の理由」について記述する箇所がないので、有無や形式も含めて検討することとした。

3. 経営システム誌に関するご報告の件

経営システム誌担当理事より、資料(H-3)に基づき、現状の発刊の状況について報告がなされた。会員の中でメールアドレス登録をされていない割合が約2割おり、電子的な連絡がとれないこと、電子化による経費削減の効果、ストックされているシステム誌の利用などについての意見が出た。

4. 理事のエリアエディタ就任の件

論文誌担当理事より、理事のエリアエディタ就任の要請があった。なお、担当分野については、後日メールにて連絡することとなった。

5. エリアエディタの件

議決事項1で審議された。

その他
なし

議 長 船木 謙一 印
議事録署名人 滝 聖子 印